

～1月議会臨時会冒頭挨拶～

令和3年1月27日

本日、令和3年第1回大町町議会臨時会を開催しましたところ、議員の皆様には、大変お忙しい中、御参集いただき、御審議賜りますことに厚くお礼申し上げます。

早いもので、令和3年が明けて、ひと月が経とうとしておりますが、昨年から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、終息する気配はなく、1月に発出された「緊急事態宣言」の延長も取りざたされております。

佐賀県でも感染者は1000人に迫ろうかという勢いになっており、感染状況、医療提供体制などの指標により、「ステージ3」と判断されております。

このような中で、政府は2月下旬以降を目途に医療従事者等を先行して、「ワクチン接種」を進めていくこととしておりますが、政府の基本的な考え方としては、「国が主導的役割を果たし、実施主体は市町、県は広域的な視点で市町を支援する、といった基本的な体制を整備する」となっております。

従いまして、現在のところ国や県からは、具体的な話は下りてきていない状況で、町としては、町民の皆様にご不安を与えないよう、県や近隣の市町とも連携を密にして、「未知の接種」を安全かつ効率的に実施していきたいと考えてお

ります。

なお、事前にできる事務的な手続きは、所管課で滞りなく進めており、いつでも動けるよう万全な体制を整え、町民の皆様の期待に応えていきたいと考えております。